

製品名: GRK 7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11778**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	62kDa

抗原情報

遺伝子名	GRK7
別名	GRK7; GPRK7; G protein-coupled receptor kinase 7; G protein-coupled receptor kinase GRK7
遺伝子 ID	131890.0
SwissProt ID	Q8WTQ7
免疫原	抗血清はヒト GRK7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 371-420

背景

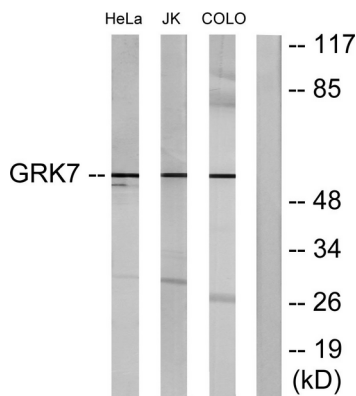
この遺伝子は、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーのGアニンヌクレオチド結合タンパク質（Gタンパク質）共役受容体キナーゼサブファミリーのメンバーをコードします。網膜特異的に発現し、コードされているタンパク質は錐体オプシンをリン酸化して不活

性を開始することが示されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: ATP + [G タンパク質共役受容体] = ADP + [G タンパク質共役受容体] リン酸。機能: 錐体オプシンをリン酸化して不活性化を開始する。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。AGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。GPRK サブファミリー。類似性:AGC キナーゼ C 末端ドメインを 1 つ含む。類似性:タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含む。類似性:RGS ドメインを 1 つ含む。組織特異性:網膜。錐体細胞と桿体細胞。

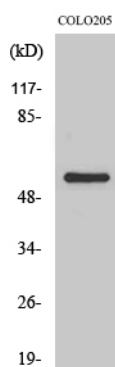
研究分野

ケモカイン;エンドサイトーシス;

画像データ



GRK7 抗体を用いた COLO205 細胞、Jurkat 細胞、および HeLa 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



GRK7 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析